

謹賀新年

巴



久喜市議会議長
上 條 哲 弘



久喜市長
田 中 暄 二



あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに、夢と希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、市財政は、ここ数年の経済状況を反映し、引き続き市税収入が伸び悩むなど、一段と厳しい状況となりました。

そのような中でも、学校施設等の耐震化の推進など、「安全・安心なまちづくり」に取り組んでまいりました。

地域医療につきましては、土屋小児病院が小児専門の中核拠点病院として開院いたしました。さらに、地域医療ネットワークシステム「とねっと」の運用開始など、地域医療の充実を図つ

年頭のあいさつ

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

年頭に当たり、市議会を代表して謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、国を挙げて復興および景気対策に取り組んだ一年でしたが、依然として景気の低迷や厳しい雇用情勢が続いております。

本市におきましても、税収が落ち込む中、少子高齢化問題、放射能対策、さらに教育、環境問題などの様々な課題を抱えている状況であります。

てまいりました。

本年は、子育て支援策として、子ども医療費無料化にかかる支給対象年齢を、4月から、通院につきましても入院と同様に中学校卒業まで拡大してまいります。

また、消防広域化につきましては、本年4月に久喜市、加須市、幸手市、白岡市、宮代町および杉戸町の4市2町による「埼玉東部消防組合」が設立され、消防力の強化、消防に関する行財政運営の効率化を図る体制が整います。

そのほか、合併後のまちづくりにつきてまいり、地域の一体感の醸成を図り、市民の皆様が円滑に市内を移動できるよう、幹線道路の整備を引き続き

さらに、昨年は、東京理科大学経営学部久喜キャンパスの縮小、県立図書館の再編などの重要課題が新たに生じましたが、これに対し、「東京理科大学経営学部久喜キャンパスの存続を求めめる決議」や「埼玉県立久喜図書館の存続を求めめる意見書」等を関係機関に提出し、早々に久喜市議会の意思を表明いたしました。

今後も、議員一人ひとりが市民の皆様目の前に立ち、皆様の声を市政に届けるという議会の役割を果たすべく、全力で取り組んでまいります。

また、本年2月定例会より、本会議のインターネット中継をスタートいたします。これにより、議場に直接お越しいただけない方でも、ご自宅等に

進めてまいります。今後、平成26年度中の完成を目指して整備が進む圏央道白岡菖蒲IC（インターチェンジ）と桶川北本IC間が開通しますと、交通の利便性が飛躍的に高まり、本市は関東屈指の交通の要衝となり、更に大きな発展が期待されています。

本年も「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」と人と愛、水と緑、市民主役のまちを創造するために全力で取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

ながら、議会を傍聴いただけるようになります。多くの市民の皆様にご覧いただき、議会を身近に感じていただきたいと思っております。

本年も、さらなる市民に開かれた議会を目指し、議会の活性化を深化させ、市民の付託に応えるよう、議員全員が最大限の努力を続けてまいりる所存でございます。

どうか皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、幸多き年でありますと共に、皆様のご健勝を、心よりご祈念いたします。新年のごあいさつといたします。